

# 1

## 【主のいやしの川が】

C CM7 C6 C7 Dm Dm7 Dm7 G  
 主のいやしの川が 世界に流れゆく  
 C CM7 C6 C7 Dm7 G C  
 その流れは豊か 泳げるほどに

主のいやしの川が 世界に流れゆく  
 その流れはいのち すべてが生きる

F G Em Am  
 すべてが生きる すべてが生きる  
 Dm7 G C C7

この川の流れゆくところ

F G Em Am  
 すべてが生きる すべてが生きる  
 Dm7 G7 C

この川の流れゆくところ

## 【新聖歌105】

1.  
 墓の中に いと低く 葬られたり ああわが主  
 \*  
 陰府(よみ)より帰り 死と悪魔に勝ちし  
 君こそ勝利の主なれ 君こそ真(まこと)の主なれ  
 ほめよイエスを われらの神を

2.  
 番(ばん)し続けし 兵の努力  
 空(むな)しかりき ああわが主

3  
 封印 固き 門(かど) 破り  
 出(い)で給えり ああわが主

## 【愛する主のみ前にふして】

C F Dm G F/G C  
 愛する主の み前にふして  
 C F Dm G C  
 王なるイエスを たたえよう

Am Dm F G F C Am Dm F G C  
 ハレルヤ ハレルヤ ハレルヤ ハレル

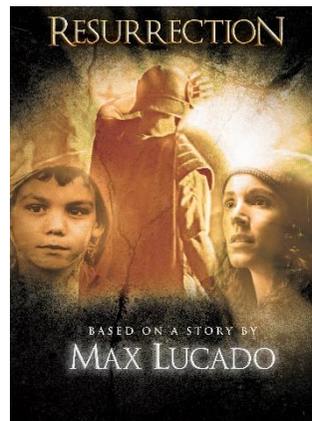
# 5

## 祈りのガイドライン

1. 賛美と感謝の祈り
2. 悔い改めと主を慕い求める祈り
3. 個人的な願いの祈り
4. とりなしの祈り
5. 日本と世界の平和を願って...

- ・大和カルバリーチャペルと大川牧師ご夫妻のため
- ・瀬戸カルバリーチャペルと倉知牧師家族のため
- ・教会が成長しますように!

- ①信徒の皆様が恵まれた信仰生活を送り、キリストの似姿に変えられる成熟と祝福に与りますように
- ②新しい方が来られますように、未信者の方がイエス様を信じ、救われ、洗礼に導かれますように
- ③地域の方々に良い証がたてられ、神の国が広がられますように。
- ④瀬戸市・愛知県・日本全国・世界宣教のために用いられる教会となりますように。



## 映画「復活」

Resurrection

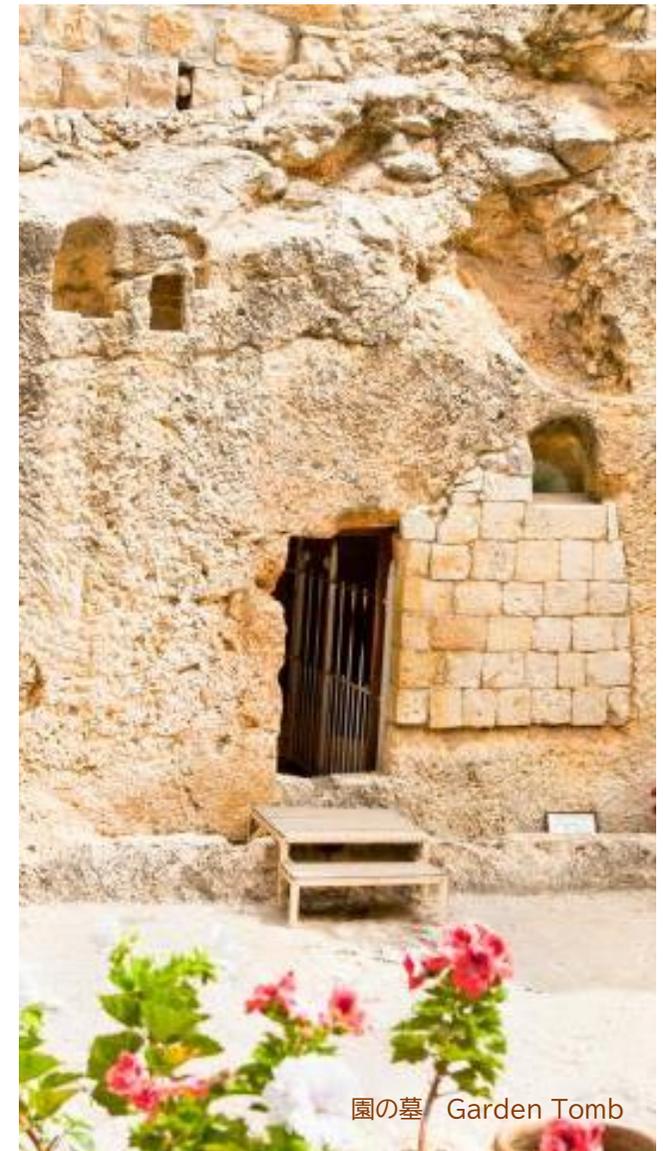
マックス・ルケード作

「大切なきみ」シリーズで有名なマックス・ルケード牧師の描いた復活の物語。園の墓の番人があの三日目の明け方に見たもの。それは何をもってしても否定できない復活の事実だった。お金を渡されて、事実を隠蔽しようとする祭司長や律法学者たち。お金を受け取って混乱を避け、また得をしようとするローマの兵卒たち。

もし、その復活の瞬間を目撃したら、  
 あなたなら、どのように生きていきますか？

瀬戸カルバリーチャペル Seto LIFE ART Studio

489-0909 愛知県瀬戸市みずの坂 5-64 0561-48-8899  
 牧師：倉知契 kei.kurachi@gmail.com



園の墓 Garden Tomb

## 祈りの小径(こみち)

Number:055 瀬戸カルバリーチャペル

「祈りの小径(こみち)」の名称は、愛知県瀬戸市・せともの街の名所「窯垣の小径」と、詩人・八木重吉の作品にある「祈りの路」から名付けられました。各ページにある数字の順に、賛美→聖書→黙想→解説→祈りを致します。

## 2 今日の聖書のことば

ゆっくり読んで黙想しましょう。

出エジプト記33章18節 モーセは言った、  
「どうぞ、あなたの栄光をわたしにお示してください。」

ローマ人への手紙6章4節

4 すなわち、わたしたちは、その死にあずかるバプテスマによって、彼と共に葬られたのである。それは、キリストが父の栄光によって、死人の中からよみがえらされたように、わたしたちもまた、新しいいのちに生きるためである。

マタイによる福音書27章61-66節

61 マグダラのマリヤとほかのマリヤとが、墓にむかってそこにすわっていた。

62 あくる日は準備の日の翌日であったが、その日に、祭司長、パリサイ人たちは、ピラトのもとに集まって言った、63「長官、あの偽り者がまだ生きていたとき、『三日の後に自分はよみがえる』と言ったのを、思い出しました。64 ですから、三日目まで墓の番をするように、さしずをして下さい。そうしないと、弟子たちがきて彼を盗み出し、『イエスは死人の中から、よみがえった』と、民衆に言いふらすかも知れません。そうすると、みんなが前よりも、もっとひどくだまされることになりましょう」。65 ピラトは彼らに言った、「番人がいるから、行ってできる限り、番をさせるがよい」。66 そこで、彼らは行って石に封印をし、番人を置いて墓の番をさせた。

マルコによる福音書16章1-4節

1 さて、安息日が終わったので、マグダラのマリヤとヤコブの母マリヤとサロメとが、行ってイエスに塗るために、香料を買い求めた。2 そして週の初めの日に、早朝、日の出のころ墓に行った。3 **そして、彼らは「だれが、わたしたちのために、墓の入口から石をころがしてくれるのでしょうか」と話し合っていた。**4 ところが、目をあげて見ると、石はずでにころがしてあった。

## 3 黙想(Life Art Meditation)の時間

(感じたこと・恵まれたことをノートします)

主なる神は言われる、  
「見よ、わたしがききんをこの国に送る日が来る、それはパンのききんではない、水にかわくのではない、**主の言葉を聞くことのききんである。**

アモス書8章11節

## 4 みことばの解説



あなたの栄光を示してください！  
Show us Your Glory !

キリストの十字架の死(=愛による犠牲)は神様の栄光の現われでした(ヨハネ17章1節)。同じく、キリストの復活(=死という不可能への勝利)も父の栄光によって成された御業でした(ローマ6の4)。私たちが神の栄光を求めるときに、死と復活の両方を「キリストと共に」体験します。もし、自分の計画通りに物事が進まず、考えが打ち碎かれるなら、その時こそ「神の御心に自らを委ねる時」です。そのことを通して、必ず神の栄光にあずかるでしょう。まさに、No Cross No Crown(十字架なくば冠なし)の世界です。

さて、イエス様のおからだに墓に納められたあと、墓の前にいたふたつのグループがいたことを聖書が語ります。ひとつは、マグダラのマリヤとほかのマリヤ(女性たち)。そして、墓石に封印をして番をしていた兵卒たちです。兵卒たちは、イエスの体を盗み出そうとするかもしれない(と言われた)弟子たちを見張っていた。つまり、墓の周り・外側に目を凝らしていました。女性たちは、墓の中のイエス様に心を向け、墓に向かって座っていた(マタイ27の61)と書かれています。これは、キリスト者の「向き(ベクトル)」がどこに向くべきか教えています。

祭司長・パリサイ人はイエス様が死んでなお「恐れ」に支配されていました。そして総督ピラトに願って墓の番人を置いてもらっています。見当違いの恐れは、私たちが「歩むべき方向」から反らせてしまいます。しかし私たち、生ける神を信じる者は、ためらわずに「不可能に向かって座する」ことができるのです。兵卒がガードする、男手でしか動かせない、封印された「三重ガード」の墓に向かって座す。そして週の初めの日、彼らは、「出来るか出来ないか」は別にして、とにかく「香料」を買い求め、もう一度「不可能の墓」に向かって歩いてゆくのです。

この女性たちが驚くべき復活のレポートを最初に耳にし、復活されたイエスに出逢い、復活の最初のレポートとなりました。全貌が見えなくても、疑いや迷いがあっても、不可能に向かって進んでゆく者でありたいと思われれます。一句 **復活をきわめて祈る 春の歓び**